

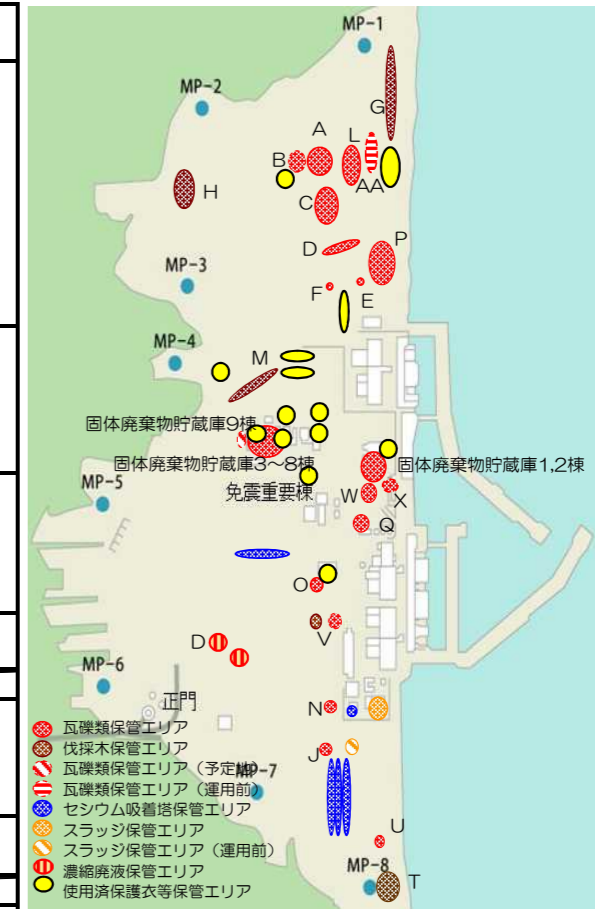
瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.1.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比*1 (2018.2.1)	変動*2 理由	エリア 占有率	保管量*3 / 保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	165000 / 214300 (77%)	・フランジタンク解体片 エリアP1にて一時保管中。(2015年6月15日~) 2018年1月末時点で532基(コンテナ)保管。
		C	屋外集積	0.01未満	59,000 m ³	+400 m ³	①②	93%		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
		J	屋外集積	0.02	3,600 m ³	-700 m ³	③	45%		
		N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
		O	屋外集積	0.01未満	39,900 m ³	+1,200 m ³	④⑤	78%		
		P1	屋外集積	0.01	47,300 m ³	0 m ³	—	74%		
	U	屋外集積	0.01未満	0 m ³	0 m ³	—	0%			
	V	屋外集積	0.01	1,500 m ³	0 m ³	—	26%			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	31000 / 71000 (44%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)が完了し受入開始。
E1		シート養生	0.02	13,600 m ³	+100 m ³	⑥	85%			
P2		シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	61%			
W		シート養生	0.05	3,200 m ³	+1,100 m ³	①	11%			
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	21600 / 27700 (78%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。	
	A	仮設保管設備	0.25	6,500 m ³	+1,000 m ³	⑦	91%			
	E2	容器*4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%			
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
Q	容器	0.06	2,100 m ³	-1,000 m ³	⑧	35%				
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器*4	0.02	9,300 m ³	微減	—	78%	9300 / 12000 (78%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。	
合計(ガレキ)				226,900 m ³	+2,700 m ³	—	70%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,100 m ³	0 m ³	—	63%	96500 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	+100 m ³	⑨	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	—	1%			
一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)		
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
合計(伐採木)				133,800 m ³	+100 m ³	—	76%			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	59,300 m ³	-600 m ³	⑩	83%	59300 / 71200 (83%)	・使用済保護衣等焼却量 3438t(2018年1月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 768本(2018年1月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				59,300 m ³	-600 m ³	—	83%			
仮設	瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—		・タンク設置スペース確保に伴い、エリアJより持込み。	
合計(仮設運用エリア)				700 m ³	0 m ³	—				

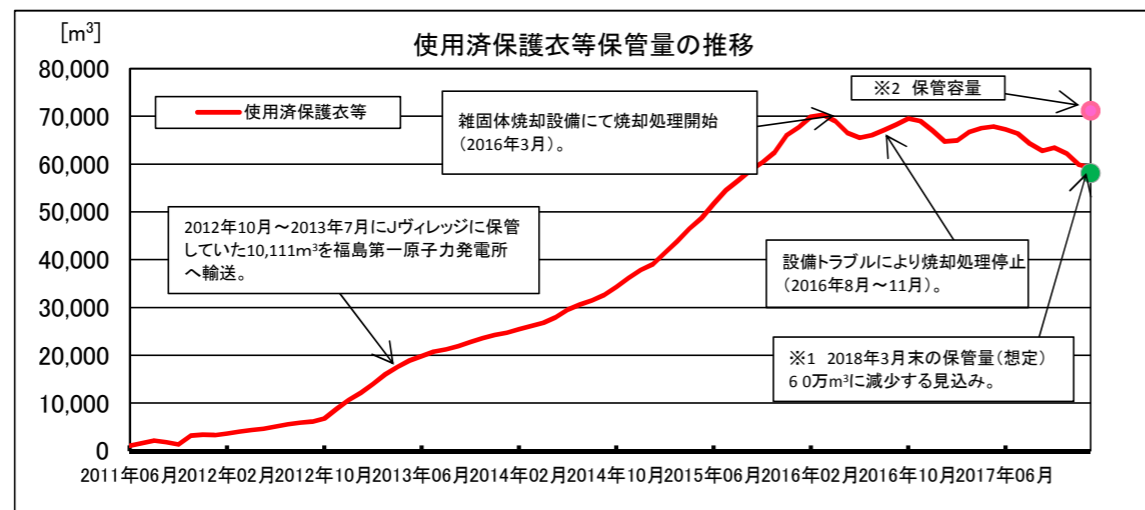
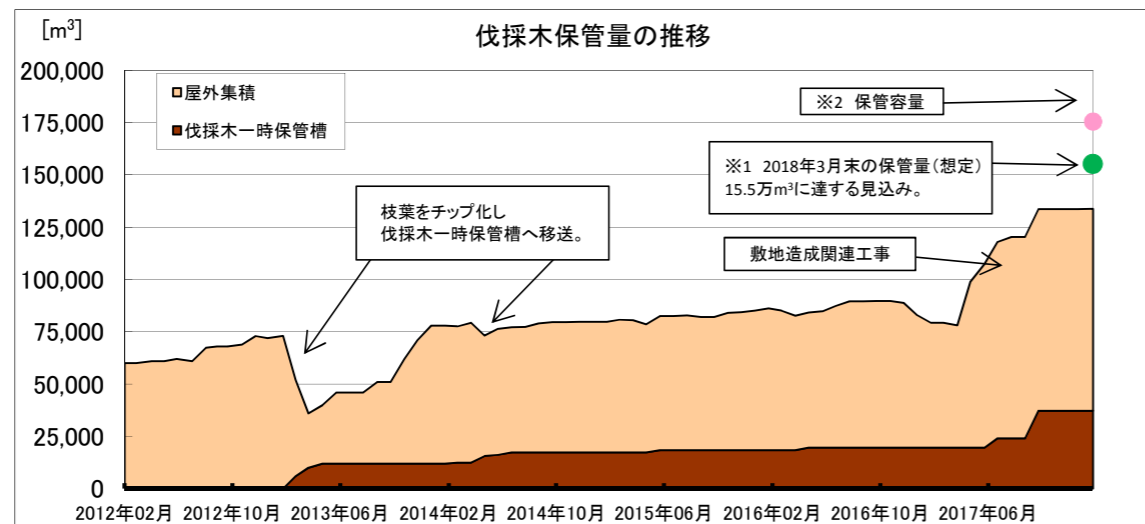
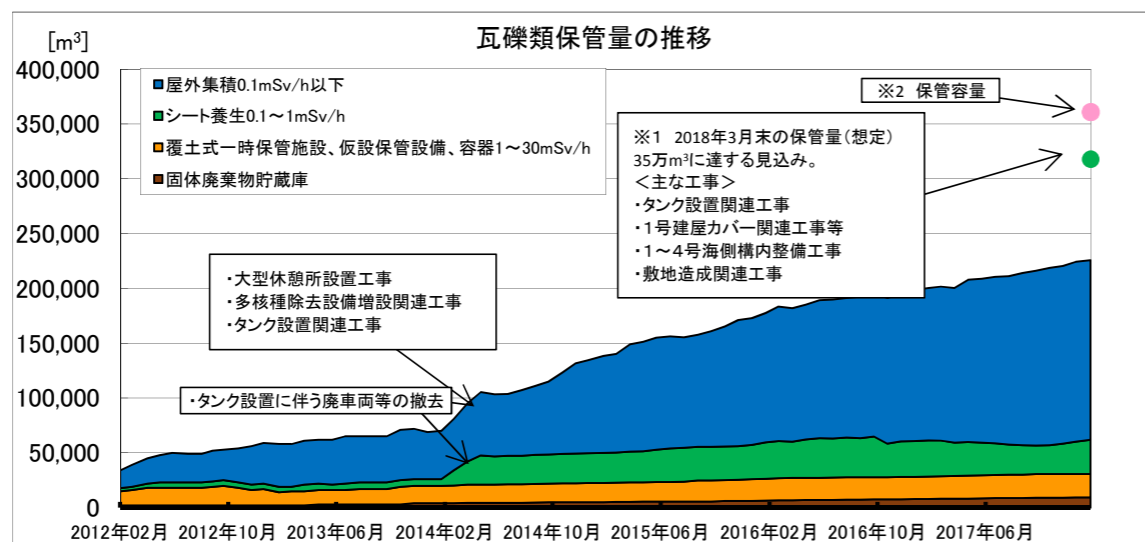
※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク設置工事 ②敷地造成関連工事 ③瓦礫を一時保管エリアOに移動 ④固体廃棄物貯蔵庫設置工事 ⑤一時保管エリアJから瓦礫の受入
 ⑥除却工事に伴い発生した土壌 ⑦一時保管エリアQから瓦礫の受入 ⑧瓦礫を一時保管エリアAに移動 ⑨構内除草・伐採業務 ⑩焼却運転
 ※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.2.1時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2018.2.1)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	763 本	0 本	3889 / 6368 (61%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	194 本	+2 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,446 基	0 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	1,205 基	+21 基		
		高性能多核種除去設備処理カラム	74 本	+1 本		
多核種除去設備処理カラム	11 塔	0 塔				
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	196 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,319 m ³	0 m ³	9319 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9219 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]	



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.1.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年1月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2018年1月26日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.2.1時点)

